

【日時】 2022年2月3日(木) 18:00-19:00

【場所】 Zoom オンラインミーティング

【出席者】 [出席表を参照](#)

【目次】 各項目をクリック→「ブックマーク」をクリック

- [前回議事録](#)
- [前回からの検討課題](#)
- [今回での決定事項](#)
- [議事](#)
- [決定事項](#)
- [次回打ち合わせ](#)
- [次回での検討課題](#)

【前回議事録】

- [リンク](#)

【前回からの検討課題・議題】 各項目をクリック→「ブックマーク」をクリック

- 1) [前回議事録の確認 \(兼松\)](#)
- 2) [大会準備状況](#)
  - 2-1) [第123回大会 \(西尾\)](#)
  - 2-2) [第124回大会 \(川村\)](#)
  - 2-3) [第125回大会 \(阿部\)](#)
  - 2-4) [第126回大会 \(小澤\)](#)
- 3) [127回大会長公募 \(兼松\)](#)
- 4) [プログラム委員会支援分科会 \(中村\)](#)
- 5) [委員会ウェブサイト \(亀澤\)](#)
- 6) [その他](#)

【今回の決定事項】

- XXX

【議事】

- 1) [前回議事録の確認 \(兼松\)](#)
  - 変更なく承認された
- 2) [大会準備状況](#)
  - 2-0) [第122回大会 \(福田\)](#)

会計報告が遅れている。次回か3月の理事会までに終わらせる。

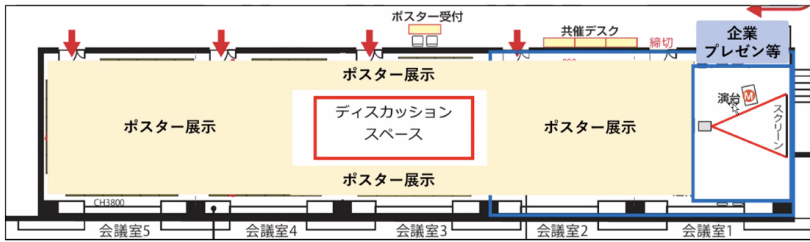
## 2-1) 第123回大会 (西尾)

- 順調に進んでいる。感染状況に関する議論はされておらず従来通りの開催予定。
- 123回大会よりICRPTの共同開催。JSRT/JSMPの共同のISセッションを拡充。  
演題はJSRT/JSMPでそれぞれで従来通り募集する。  
JSMP95(100)演題 ( 英語 : 58(62)演題、日本 : 37(38)演題 )  
英語 : 2演題不採択 / 本人希望2演題取り下げ  
日本語 : 1演題取り下げ
- 各学会のAward : ICRPTで最優秀賞1名・副賞2 / 優秀賞2名・副賞  
Student Awardは無し、JSMP日本語は金・銀・銅で従来通り
- 次年度以降は一本化する予定。
- 賞の体制については? ( 兼松 )  
JSMPの日本語Award : プログラム委員を中心に選定  
ICRPT : 両プログラム委員  
※会の別を考慮せずに先行する
- 海外の招待者は? ( 川村 )  
プレゼンター3名 ( 内1名がオンサイト予定だが未確定 )  
渡航後の待機期間について議論
- RTP誌のサプリメントについて、次回以降の検討。今回は断念。  
abstractを一つにまとめる。報文集を一元化するとなくなるか

## 2-2) 第124回大会 (川村)

- 前回の委員会の報告 ( 21/12/15 )  
各委員会から企画等の協力があり、プログラム内容を検討した。  
日程・会場・テーマについては変更なし
- 大会プログラム案を共有  
2日間、3Fフロアのみ貸切。メイン会場を国際会議場とする。  
メイン会場 : さまざまな企画・講演を設定。

会議室1~5：ポスターディスカッション



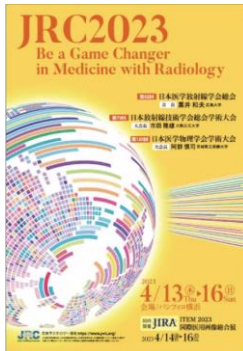
- ティーザー発表形式
- 特別講演：鈴木先生は確定・もう1名は生物関係の候補（未定）
- 教育講演：中性子に関する特集に合わせて講演  
加藤先生（コロラド州立大学）AMに設定
- シンポジウム：3Dゲル、委員会企画：1つ未定
- 市民公開講座：高校生・大学生向けの啓発講演 五月女先生  
ラジエーションハウス（ドラマ）の原作に関わった方  
若い人たちに放射線の治療・核医学領域を理解頂くために注目を集めやすい  
他、医学物理士を含めた演者を設定する予定
- 五月女先生から参加承諾の連絡を確認済み
- ランチタイムレクチャー：2社、協力内諾済み
- ティーザー発表に伴い、学会委員の方々に理解頂くために、事前の説明が必要  
学会参加・ディスカッションを通じた連携を深めたい
- 演題募集締切：5/23、6月初旬にプログラム委員会・中旬に採択演題公開
- プログラム委員の説明（亀澤）  
倫理委員会委員にも協力いただく予定。未内諾（2名）  
山本先生がご退官されているため他の候補者を検討する
- 委嘱については大会長名にて（兼松）
- JBMP講習会：オンライン・録画について見積中。会場は朝から手配。
- 広報委員会：大会HPを公開。学会のHPへのリンクを依頼。
- 委員会企画・委員会会議について：各委員会からの案に基づきプログラムを設定  
講演だけでなくシンポジウム・ディベートも検討している。
- ティーザー発表について（亀澤）  
興味のある演題を選んで、演者とディスカッションできるメリットがある  
関連する方が聴講するため、深い議論ができる

動画・ポスターは前もって提出する

- 市民公開講座の動員作戦が必要だろう（久米）  
高校大学には案内を直接送付・長崎市に後援として名前を掲示するなど（川村）  
以前も学校に周知したが、良い方法は思い浮かんでいない（川内野）  
地方紙の編集者のコネや、市の広報課に投げ込みなどを検討する

### 2-3) 第125回大会（阿部）

- ポスター案がほぼ確定した



市田先生の正式な所属を変更する予定。背景については飛行機が追加される。

正式版は再度アナウンス予定。

テーマは前回の提案通り”Be a Game Changer”

- 123回からの引継ぎはなされるか？JRCの中に組み込まれるか？（久米）  
引き継ぎ会は実行委員長がアレンジし、共有される（兼松）  
JRCの中にICRPTは含まれ、国際学会に参加したと見なされる  
白石先生が主導している間は国際化は発展するだろう

### 2-4) 第126回大会（小澤）

- コンベンション会社に見積依頼（3種：完全現地・ハイブリット・完全オンライン）  
助成金は赤字補填のため、プラス収支の場合は返還が必要（対象除外項目を確認）
- 予算申請のタイミング：JSMP準備金200万円はいつするか？  
年度単位のため、2023年度の予算に入れる必要がある。事前使用分は当該年度に精算（久米）  
立て替えが発生した経緯について：手数料を削減するために自前で支払・返金を受けた（久米）  
大会用の銀行口座について：個人名を求められる  
セミナーでも作成しているため、学会の定款・HP印刷等で可能だろう。（小澤）

学会で口座を作成して使い回すことが難しい(福田)

→事前申請の上進める方針とする(小澤)

### 3) 127回大会長公募(兼松)

- 大会長の募集について：  
JRCの方法で行う。大会長はJRC理事に就任。大会支援委員会に加盟し支援を受ける。  
期限は2/28まで。3月の理事会で確定予定。  
審査内容は外部へ公開しない
- プレゼンテーションは、複数人が応募したいに可能か(山本)  
必要に応じて面接を実施する(兼松)
- 出来レースの場合・候補者がいない場合もあるだろう(久米)  
JRCの場合は応募者がいるだろう(兼松)

### 4) プログラム委員会支援分科会(中村)

- 欠席のため議論なし

### 5) 委員会ウェブサイト(亀澤)→[リンク](#)

- 第5回議事録をアップした。
- 第124回大会のHPのリンクを設定した。ポスターもダウンロード可能。

### 6) その他

- JSMP/JSRT懇談会の報告(兼松)  
ICRPTについて、磯辺先生の案が基本。  
日程としては演題募集7月ごろ。それまでに決定する必要がある。  
6月の引継ぎでは間に合わないため、  
大会支援委員会(プログラム委員会支援分科会)で対応する予定。  
JRCの後、中村先生から次の委員長に主査が変更になる。  
乳井先生を中心に進める。合同プログラム委員会の概要説明済み。  
委員会開始が6月。現在の体制で進める必要がある。  
中村先生と今後の方針について申し送りを行う。
- 理事会に提出する報告書について、大会予算案は提出済みだが、  
今回の理事会でも提出は必要か?(川村)

## 令和3年度第6回大会支援委員会 議事録

→ 必要ない。

前借りはまだしていないが、通帳は作成済み。会議も現地でできていない。

これから実質的に動き始める予定。

### 【次回打ち合わせ】

- 2022年3月の理事会に合わせては開催せず  
3月の理事会は2月末までに終わった事業報告を承認するために行うため  
大会支援委員会は影響を受けないだろう（水野）
- 2022年4月 現地（横浜）にて開催予定（日程は未定）  
内容は未定・秋の大会準備報告など

### 【次回の検討課題】

- XXX

### 【文責】

- 櫻井

### 【委員】（敬称略，順不同，2021年3月現在）

氏名	所属	連絡先
兼松 伸幸	量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 物理工学部・次長	kanematsu.nobuyuki@qst.go.jp
水野 秀之	量子科学技術研究開発機構QST病院放射線品質 管理室・主幹研究員	mizuno.hideyuki@qst.go.jp
米内 俊祐	量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 物理工学部照射システム開発グループ・グループ リーダー	yonai.shunsuke@qst.go.jp
山本 徹	北海道大学大学院保健科学研究院・特任教授	yamamoto@hs.hokudai.ac.jp
長谷川 智之	北里大学医療衛生学部・教授	hasegawa@kitasato-u.ac.jp
西尾 禎治	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻医療画像 技術科学分野生体物理工学講座医学物理学研究	nishio@sahs.med.osaka-u.ac.jp

令和3年度第6回大会支援委員会 議事録

	室・教授	
有村 秀孝	九州大学医学研究院保健学部門医用量子線科学分野・教授	arimurah@med.kyushu-u.ac.jp
小澤 修一	広島がん高精度放射線治療センター・医学物理士長	ozawa@hiprac.jp
川村 慎二	帝京大学大学院保健学研究科診療放射線学科・教授	kawamura@fmt.teikyo-u.ac.jp
黒岡 将彦	東京医科大学病院放射線治療部・医学物理士	kurooka.m@gmail.com
亀澤 秀美	帝京大学福岡医療技術学部診療放射線学科・講師	kamezawa@fmt.teikyo-u.ac.jp
林 直樹	藤田医科大学医療科学部放射線学科・准教授	hayashi@fujita-hu.ac.jp
齋藤 秀敏	東京都立大学大学院人間健康科学研究科・教授	saitoh@tmu.ac.jp
蓑原 伸一	神奈川県立がんセンター物理工学科・科長	minoharas@kcch.jp
川内野 友彦	長崎大学病院医療技術部放射線部門・主任診療放射線技師	tomopiko@nagasaki-u.ac.jp
明上山 温	東京都立大学大学院人間健康科学研究科放射線科学域・准教授	atusi@tmu.ac.jp
久米 恭	若狭湾工ネルギー研究センター研究開発部粒子線医療研究室・室長	kkume@werc.or.jp
佐々木 誠	福井県立病院陽子線がん治療センター陽子線治療研究所・研究員	m-sasaki-hl@pref.fukui.lg.jp
納富 昭弘	九州大学大学院医学研究院保健学部門医用量子線科学分野・准教授	nohtomi.akihiro.858@m.kyushu-u.ac.jp
櫻井 勇介	医療法人伯鳳会大阪陽子線クリニック・係長	y.sakurai@hakuho.or.jp
伊良皆 拓	京都大学医学部附属病院放射線治療科・特定助教	iramina@kuhp.kyoto-u.ac.jp
福田 茂一	量子科学技術研究開発機構QST病院放射線品質管理室・室長	fukuda.shigekazu@qst.go.jp

令和3年度第6回大会支援委員会 議事録

石川 正純	北海道大学大学院保健科学研究院医用生体理工学 分野・教授	masayori@med.hokudai.ac.jp
中村 光宏	京都大学人間健康科学系専攻情報理工医療学講 座・准教授	m_nkmr@kuhp.kyoto-u.ac.jp
阿部 慎司	茨城県立医療大学大学院・研究科長/教授	abe@ipu.ac.jp
藤崎 達也	茨城県立医療大学保健医療学部放射線技術科学 科・教授	hujisaki@ipu.ac.jp
乳井 嘉之	東京都立大学健康福祉学部放射線学科・准教授	newyoshi@tmu.ac.jp